

<参考> 北声会の前身「NHK盛岡放送合唱団」の最後の演奏会
 第5回 NHK盛岡放送合唱団演奏会 「日本合唱曲の夕」
 (昭和40年1965年11月20日(土)18:30～) 岩手教育会館ホール

<プログラム>

指揮 千葉了道
 賛助出演 カンパネラコール
 指揮 木内博

- I 日本合唱小品集
 いっぽんぼし 大中恩
 赤とんぼ 山田耕筈
 真珠 福井文彦
 ばあやのお家 本居長世
 あの子この子 大中恩
- II 千葉了道作品集
 女声合唱「遅春譜抄」 鶴川三夫
 混声合唱「蘇民」 中村千代吉
- III 賛助出演 カンパネラコール
 指揮 木内博
 混声合唱のための組曲「旅」
 作曲 佐藤眞
 作詩 山之井慎・田中清光
 旅立つ日
 村の小径で
 旅のよろこび
 なぎさ歩めば
 かごにのって
 旅のあとに
 行こう ふたたび
- IV 信時潔作品集
 いろはうた 日本古謡
 子等を思ふ歌 山上憶良
 やまとはは (国見の歌) 舒明天皇



<団員名簿>

<Sop.>											
川佐旗中菊	口藤福村池	一節光静千代子	金子子子子	金関昌吉片	沢山田岡	節由美子子子子	子房淳美保子	堀田西宮佐々	口村田木	光陽牧としかの子	子子子子子
<Alt.>											
浅阿吉小屋	井部田敷山	義佳富千賀子	子代子シ	寒河高小野	江橋寺	子子子子子	子子子子子	佐々木和山藤	孝光厚和	子子子子子	子子子子子
<Ten.>											
松佐福木	田藤田村	晃劉清梯	尾佐小野根	形木市重	利康金重	夫勝雄明	小野寺池	正野池	明康攻郎	子子子子子	子子子子子
<Bas.>											
川平宮菊	部沢越池	幸夫尚裕裕	佐武細	藤藤井	則陽	洗夫悦	名小石	化坂川	進治郎博稔	子子子子子	子子子子子

<指揮者・ピアニスト・役員>

常任指揮者	千三尾川福片	葉浦形部田岡	了順利幸美保子	道子夫清子
伴奏員	長務計			
委員				
副委員				
総会				
ハートリーダー	Sop.	Alt.	Ten.	Bas.

- 34年 水沢市、花巻市に演奏旅行
放送劇団との合同公演「ある日二羽のはとが」
- 35年 第2回演奏会 (県公会堂)
宮古市演奏旅行
放送劇団との合同公演「逃げろ逃げろ」
- 36年 釜石市演奏旅行
- 37年 朝の民謡、ラジオホール担当
- 38年 第3回演奏会 (県公会堂)
- 39年 第4回演奏会 (県公会堂)
山田町、大船渡市演奏旅行
公開放送「音楽をどうぞ」出演
秋田放送合唱団との合同演奏会 (秋田市民会館)
- 40年 第5回演奏会「日本合唱の夕」(賛助出演カンパネラコール)
江刺市演奏旅行
- 41年 一関市民合唱団との合同演奏会 (一関市教育会館)
12月NHK盛岡放送局との契約を終わる。
- 42年 北声会合唱団と改称 (常任指揮者千葉了道)

<NHK盛岡放送合唱団のあゆみ>

(北声会第1回定期演奏会プログラムによる)

- 昭和26年 NHK盛岡放送局附属芸能団体、QJボーカルフォアとして結成、常任指揮者千葉了道
- 28年 盛岡放送合唱団と改称
- 29年 常任指揮者和久井敬三
NHK東唱佐々金治郎氏を迎え研修会
第1回演奏会 (賛助出演 秋本雅彦氏)
- 30年 NHK東唱坂本芳子氏を迎え第2回研修会
- 31年 NHK東唱常任指揮者前田幸市郎氏を迎え第3回研修会
- 32年 常任指揮者制を廃し、指揮者グループ (千葉了道、和久井敬三、鷹嘴洋一、渡部清治) により「朝の歌」担当
- 33年 常任指揮者千葉了道「朝の歌」「ラジオホール」担当

— 盛岡放送合唱団演奏会によせて —

第5回
演奏会
85.11.20(土)

ごあいさつ

N H K 盛岡放送局長

守 屋 孝 衛

この度N H K盛岡放送合唱団とN H K秋田放送合唱団が交歓演奏会を開く機会を得ましたことは、音楽愛好者の皆様方の厚いご支援のたまものと、深く感謝しております。

N H Kは皆様の放送機関として国民文化の向上に少しでもお役に立つよう日夜努力を続けておりますが、中でも文化の向上については、その地域の実情に則した具体的重点事項を上げ年々の編成方針に取り上げています。

こうした番組編成の中で長い歴史をもつ、N H K盛岡放送合唱団とN H K秋田放送合唱団は、岩手・秋田両県の音楽向上のために活発な放送活動を続けてまいりました。

昨年はN H K盛岡放送合唱団が、日頃の勉強の成果を秋田県の皆様に披露して参りましたが、今年も又皆様のご批判を頂きたく、今日この公開演奏会の機会をもつことになった次第でございます。

幸い岩手大学の千葉了道先生という良い指導者を得て、地道な中にも常に心血を注ぎぬ精進を続けております。いささかでも皆様のご期待にそることが出来れば幸いです。

— カンパネラコールについて —

昭和22年12月、クリスマスに当り当時進駐していたアメリカ軍家族に、クリスマスキャロルを行うため、秋田市内各学校合唱団から選抜し25名で合唱団を編成（指導はボストン教会歌手メーウェーニング氏）昭和23年から秋田大学教授小野崎晋三氏を指揮者とし、放送・合唱祭等に参加。同時にクリスマス・ツリーに飾る小さな鐘になぞらえカンパネラコールと命名、秋田県で戦後初めての一般混声合唱団として活動。

昭和24年、現在の指揮者木内博氏を迎え、毎年定期演奏会と特別演奏会を開く、今年6月には18回の演奏会をもった。現在秋田県で最も伝統ある合唱団として秋田県社会教育団体の指定をうけている。昭和28年からN H K秋田放送合唱団として放送にも活躍している。

— 御 挨拶 —

第5回演奏会を迎えて

本日は私達合唱団の第5回演奏会においで下さいましてありがとうございます。

昭和26年、放送を主な演奏活動として発足した我が合唱団も、今年で15年を迎えます。この間、種々の困難にも出りましたが、放送を通じて岩手の民謡や創作合唱曲を広く紹介すると云う活動を続けてまいりました。8年前指揮者に岩大教授千葉了道氏を迎え再発足してからは、幸いメンバーも固定し安定した活動を続けております。その間、ラジオ・テレビの放送だけでなく4回の定期演奏会と、各地への演奏旅行などその活動の範囲をステージまで広げてまいりました。特に昨年は、公開放送「音楽をどうぞ」出演や、山田・大船渡での演奏会と、秋田市においてN H K秋田放送合唱団との合同演奏会を開催。本年に入ってから、江刺市での演奏会も開催しております。今回は、カンパネラコール（N H K秋田放送合唱団）の賛助出演をえて「日本合唱曲」でプログラムをくみました。今後共皆々機の御指導を御願いたします。